

2022 年度 第一回総務・100 周年記念事業委員会 議事録

2022 年 11 月 20 日
総務委員長 百瀬健昭

日 時：2022 年 11 月 13 日（日）10:00～11:30

場 所：Zoom 会議

参加者：百瀬（高 27 回）近藤（高 29 回）草間（高 33 回）徳武（高 33 回）尾崎（高 35 回）
太田（高 26 回）片桐（高 35 回）、三澤幹事長（高 18 回）

1. 会則・運営細則の改定について

(1) 自由意見

- ・ HP 管理委員会の分について規程の整理が必要。
- ・ 特に不備があるように見えない。運用の問題ではないか。
- ・ 副会長について、細かい規定は不要と思う。人数も若干名のままで良い。
- ・ 代表幹事会・合同幹事会について、事務局が案内を発送するようになっているが、Zoom 会議を行う実態に踏まえて、電子的招集についての規程の追加が必要。
- ・ 会則・運営細則自体は特に変更は必要ない。運用しやすいことが大事。運用が課題と考える。
- ・ 定款等で基本をしっかりと定め、その後は柔軟に運用できるようにして置くことが必要。運用が大事だと思う。
- ・ HP 管理委員会の追加規定は必要。全体が紙ベースであることが課題。運用が大事。会則を十分に読んで検討を続けたい。
- ・ 第 5 条ほか、代表幹事会・合同幹事会については、会食・対面が前提になっているように思える。規定はファジーな形にしておいた方が良い。

(2) 現在の職場の働き方について

- ・ 週に 1～3 回程度の出社。出来るだけ出社しない、在宅で足りるようにしているため、リモートが多い。但し、OB 会はリモートに反対している。
- ・ リモート勤務は採用していないので毎日出社している。その変わり、退社後に集まることは出来ない。
- ・ 殆ど、出社している。電車もパンパンで人が溢れている。会社に行っても会食や人が集まる場所には行けない。会社で人数制限もしている。
- ・ 在宅で出来ない仕事をしている。顔を合わせた方がお互いの意思が分かって良いと思うが、同窓会は一方通行も止むを得ない、その中で会合をしていくしかない。
- ・ 来週、2 年振りに全社ミーティングを行う予定だが、地方にいる人は WEB で参加する。
- ・ 勉強会・講演会の参加には、ワクチン接種証明や陰性の確認を必要としている。

ワークショップはWEBで出来る。ハイブリッド型も増えている。

- ・ 先日、会社で集合研修を行ったが、開始前に全員の抗原検査を実施した。

(3) 今後の進め方について

- ・ 総務・100周年記念事業委員会としては、基本の部分はしっかり定めるが、フアジーな部分も残して、運用しやすい形にしたい。
- ・ 他の委員会の検討状況・意見も踏まえて引き続き検討を続けていく。

2. 100周年記念事業の実施について

(1) 100周年記念事業の現況について

- ・ 寄付金10月末の状況：目標 8,400万円に対して5,200万円、達成率63%
- ・ 未寄付者に対して声掛けをお願いする。

(2) HP記載内容の変更について

- ・ 太田委員長が作成した原案に賛成する。
- ・ ゆうちょ銀行の口座番号を追加する。
- ・ 100周年記念事業寄付について、期間限定の一律1万円の振込用紙があったが今は使えない。寄付の振込先を追加で掲載するのが良い。

3. その他

(1) ふるさと納税

- ・ 去年の実績は2-3人。3年前は130~150万円集まったが減少している。
- ・ 皆さんの寄付のお陰で、タブレット端末やWi-Fiが用意できて、コロナの影響が小さく済んだ。
- ・ 何年前かに、同窓会会場でふるさと納税を募ったが、判り易くて良かった。気分も高まる。

(2) 東京同窓会費について

- ・ 本部同窓会費を支払っているので東京同窓会費は不要と考えている人が多い。
- ・ 財政委員長からは「松本同窓会とは別に…」を挿入して案内している。
- ・ 終身会費の納付者を増やしたい。

(参考：本部同窓会費)

- ・ 3種類の振込方法 (①郵便振替、②オンライン、③期限付きウェルネット)
- ・ 会費納付者増加対策
旧：入会金2,000円、年会費2,000円×5年分 =12,000円を入学時納付
新：入会金1,000円、年会費1,000円×30年分 =31,000円を入学時納付
- ・ 東京同窓会は支部の位置づけ。

以上